

# 東京湾・久里浜沖にカワハギ

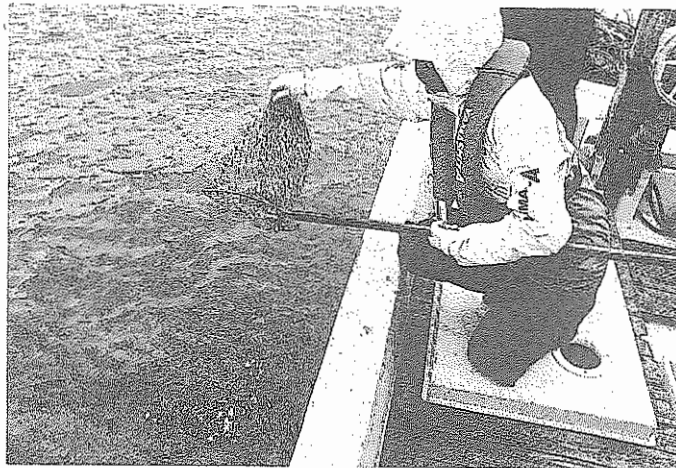
## 日釣振神奈川支部が1万尾

(公財)日本釣振興会 魚1万尾を放流した。神奈川支部(山口充支部長)は11月25日(水)、東京湾湾口部の神奈川久里浜沖にカワハギの稚魚を放流した。

振の釣教室でもなかなか釣れず、カワハギを対象魚から外していた。ただ、最近釣況が回復。久里浜周辺の船宿でもカワハギ放流は今回が初めて。

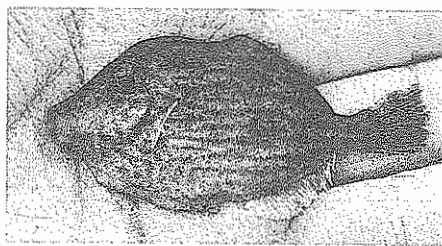
今回の放流は、つり環境ビジョンコンセプトに基づきLOVE BLUE事業として実施。日釣振としてカワハギを放流しているのは鹿児島支部のみで、それ以外のカワハギ放流は今回が初めて。

今回の事業には釣りビジョンのほか、J・C・O Mも取材に訪れ一般に向けたニュースとして放送された。首都圏で日釣振などの稚魚放流事業がテレビのニュースに取り上げられることは少ないが、山口支部長によるリポートは広く日釣振の活動と、今回取材したJ・C・O Mは放流に関心を寄せ、果が期待される。



船上からカワハギの稚魚を放流

春に産卵した稚魚は体長3cmを中心に5cm程度も



振の釣教室でもなかなか釣れず、カワハギを対象魚から外していた。ただ、最近釣況が回復。久里浜周辺の船宿でもカワハギ放流は今回が初めて。

春に産卵した稚魚は体長3cmを中心に5cm程度も

今回の放流は、つり環境ビジョンコンセプトに基づきLOVE BLUE事業として実施。日釣振としてカワハギを放流しているのは鹿児島支部のみで、それ以外のカワハギ放流は今回が初めて。

当日は横須賀市東部漁業協同組合の協力を得て、稚魚を船に積み込み沖合まで運び、2カ所に分散放流した。久里浜周辺はカワハギの生育環境に恵まれており、釣り場としても有名だ。

稚魚は(公財)神奈川県栽培漁業協会から調達。3月から育成し9カ月ほどで体長3〜5cm程度に成長、3cmほどが中心だった。2〜3年で15cm程度に成長し、その後

今回の放流は、つり環境ビジョンコンセプトに基づきLOVE BLUE事業として実施。日釣振としてカワハギを放流しているのは鹿児島支部のみで、それ以外のカワハギ放流は今回が初めて。



今回の放流は、つり環境ビジョンコンセプトに基づきLOVE BLUE事業として実施。日釣振としてカワハギを放流しているのは鹿児島支部のみで、それ以外のカワハギ放流は今回が初めて。